



町政懇談会の様子



経営再開マスタープランの
地区座談会の様子



災害公営住宅建設現場の様子



駅東側開発整備事業の
第一期土地利用計画図



小・中学生による田植え体験の様子

■駅東側開発整備事業

広野町復興計画に掲げる基本理念・目的を達成するため、シンボル事業として位置づけている駅東側開発第一期の造成工事に着手するなど、諸施策を確実に実施していきます。

町振興計画の上位計画である「広野町町勢振興計画」については、震災・原災以降、広野町復興計画を指針としてまちづくりを展開してきましたが、震災・原災後4年目を迎える平成26年度に、町民のみならず広野町の将来像について議論を交えながら改定作業を行います。また、並行して広野町国土利用計画についても、改定に向けて取り組んでいきます。

■災害公営住宅建設事業

本年の9月完成を目指して進めています。また、外構工事についても建築工事の進捗に合わせて整備していきます。

■今後の広野町の農業

中山間地域等直接支払交付金事業を活用して、農地、用水路などの保全管理に努めるとともに、経営再開マスタープランの作成を通して、今後の広野町の農業のあるべき姿について地域のみならずとも真剣に考えていきます。また、平成26年度より農地中間管理機構が実質的に運営されます。マスタープランなどの作成により農地の貸し手、借り手の情報を把握し、農地の有効活用を努めていきます。なお、本町に双葉農業普及所の仮設事務所が設置されることから、より身近に農業指導などを受けやすくなり、本町の農業振興に寄与するものとなります。

■ほだ木の撤去運搬

昨年度に引き続き、残りのほだ木の仮置き場への運搬を実施します。なお今年度、新たなほだ木を購入し、

■復興道路整備事業

計画道路の用地取得を重点的に行い、駅東側開発との整合性を図りながら進めていきます。また、久保田跨道橋については、引き続き早期完成に向け工事を実施していきます。駅自由通路についても、平成26年度において工事協定の締結を行い、早期完成に向け事業の推進を図っていきます。

■農業再生

農林業を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いています。農業従事者の高齢化や後継者不足の問題、福島県産農産物に対する風評被害など様々な課題を抱えています。しかし、これらを一一つ解決すべく努力していきます。

■平成26年度産米の作付け

福島県より広野町の水稲生産数量目標配分が194ヘクタールと示されました。JAふたばへの種籾の

■学校教育

学校教育においては、「生きる力」を育て、夢や目標を持ち、学ぶ意欲にあふれたたくましい子供を育てるため、引き続き「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和を重視した取り組みを進めていきます。



たくましい子供を育てる
環境づくりに努めます

■広報・広聴

平成25年度に引き続き、町政懇談会を開催し、町民のみならずの意見を町政に反映していきます。広野町の情報を全国に向けて発信していくために広野町ホームページの一層の充実や動画配信、SNSなどの活用を推進していきます。また、スマートフォン向けアプリについても運用を開始しています。



広野町公式Facebookページ



町内の田の稲刈りの様子

申し込み状況から2月末日現在、115世帯で約145ヘクタールの水田で作付けがされる見込となっています。町では、水稲の作付けや転作をする水田について、国の経営所得安定対策をはじめとし、福島県営農再開支援事業や景観形成作物奨励補助金を活用し、農家のみならずの負担軽減を図っていきます。また今年度、県の実証事業として、本町において地元農家のご協力の下、花き栽培の実証を行うこととしており、新たな振興作物として期待しているところです。